

## はじめに

平成から令和へと元号が変わり、令和元年度の宮崎県特別支援教育研究連合会誌第 25 号を発行する運びとなりました。

本研究連合は、県小・中学校特別支援教育研究会と県特別支援学校教育研究会の連合体として設置されており、活動も今年で 25 年目を迎えました。会員の皆様には、日頃より本研究連合の運営にご理解とご協力をいただき心よりお礼申し上げます。

本年度の研究大会は、7 月 26 日に日向・東臼杵ブロック部会の主管で、門川町総合文化会館を会場として、参加者が 400 名を越える大会となりました。

「自立と社会参加を見据え、一人一人の教育的ニーズに応える特別支援教育」という大会主題のもと、3 名のそれぞれ学校種の違う先生方による研究発表、独立行政法人 国立重度知的障害者総合施設 のぞみの園 事業企画局研究部部長 日詰正文先生に、「自立と社会参加のために、学齢期の支援に必要なこと」～強度行動障害の予防の観点から～という演題で、ご講演をいただくなど、大変有意義な大会となりました。

また、その他の障がい種別教育研究部会や各ブロック部会についても、それぞれ本年度の計画に則って研究会などの活動を順調に進めていただきました。ありがとうございました。

こうした研究大会をはじめとした本研究連合のそれぞれの活動は、宮崎県の特別支援教育の推進・発展に大きく寄与していると思っております。しかし、一方では、改善や見直しの必要性の意見等も出てきております。

ところで、新たな理念で特別支援教育がスタートして 13 年が経過しましたが、その間、発達障がいなど障がいをもつ児童生徒が増えつづけ、通常学級をはじめ特別支援学級や特別支援学校ではその対応や増設に追われています。高等学校には通級指導も導入されました。このことは、今日、障がい児など特別なニーズを持つ子どもたちに、学び支援の手が行き届き始めていることの証であり、一層私たちの努力が求められている状況として捉えることができます。

さらに、文部科学省は、2017 年度から、障がい児の教育について、これまでの学校教育政策から生涯学習政策への転換を打ち出しました。2019 年 3 月には、『障害者の生涯学習の推進方策について～誰もが、障害の有無にかかわらず共に学び、生きる共生社会を目指して～（報告）』と題する報告書が出されました。

また、来年 2020 年は、東京オリンピック・パラリンピックが、そして本県においては、国民文化祭・全国障害者芸術・文化祭が開催されます。その準備やイベント等も着々と進められております。

私たちは、このような国や県の動向も参考にしながら、新たな時代的要請をしっかり受けとめ、これまでも増して、かけがえのない一人一人の子どもに、生涯にわたって寄り添い、彼らの豊かな学びと人間的成長を支えていくために、さらに研鑽に努め、関係する多くの方々との連携・協働の輪を広げ、地域の隅々に子どもたちの豊かな人間性と個性を輝かせる特別支援教育の推進と充実に努めていく必要があると考えます。そして、私たちは常に認識を新たにしながら、今後の本研究連合の在り方についても見直しや工夫改善を図っていければと思います。

結びにあたり、県教育委員会をはじめ市町村教育委員会や関係諸機関の皆様のご理解とご支援に感謝申し上げますとともに、本研究連合のますますの発展を願って巻頭の挨拶といたします。

令和 2 年 3 月

宮崎県特別支援教育研究連合  
会長 門田 誠  
(みやざき中央支援学校長)

令和元年度 「会誌」 第25号  
目次

はじめに

県特研連のあゆみ

I 宮崎県特別支援教育研究連合組織

- ・ 令和元年度 研究組織

II 事業方針及び研究計画の概要

- ・ 平成30年度収支決算報告
- ・ 令和元年度事業の概要

III 令和元年度 第22回 研究大会報告

IV 県特別支援教育連合 各研究部会活動報告

- ・ 視覚障がい教育研究部会
- ・ 聴覚・言語障がい教育研究部会
- ・ 情緒障がい教育研究部会
- ・ 知的障がい教育研究部会
- ・ 病弱教育研究部会
- ・ 肢体不自由教育研究部会

V 県特別支援教育連合 各ブロック部会活動報告

- ・ 宮崎ブロック部会
- ・ 南那珂ブロック部会
- ・ 都北・西諸県ブロック部会（都北）
- ・ 都北・西諸県ブロック部会（西諸県）
- ・ 児湯ブロック部会
- ・ 日向・東臼杵ブロック部会
- ・ 県北ブロック部会

VI 令和元年度 全国大会報告

- ・ 第94回 全日本盲学校教育研究大会（京都大会）
- ・ 第53回 全日本聾教育研究大会（高岡大会）
- ・ 第58回 全日本特別支援教育研究連盟全国大会（埼玉大会）
- ・ 第60回 全国病弱虚弱教育研究連盟研究協議会（宮城大会）
- ・ 第65回 全国肢体不自由教育研究協議会（青森大会）

VII 令和元年度 九州地区研究大会報告

- ・ 九州地区盲学校教育研究大会（熊本大会）
- ・ 第24回 九州地区聴覚障害教育研究大会（久留米大会）
- ・ 第43回 九州地区難聴・言語障害教育研究会（福岡大会）
- ・ 第53回 九州地区特別支援教育研究連盟研究大会（鹿児島大会）
- ・ 第59回 九州地区病弱虚弱教育研究連盟研究協議会（沖縄大会）
- ・ 第56回 九州地区肢体不自由教育研究大会（長崎大会）
- ・ 第47回 九州地区情緒障害教育研究大会（鹿児島大会）

VIII 宮崎県小・中学校特別支援教育研究会と宮崎県特別支援学校教育研究会の活動報告

- ・ 宮崎県小・中学校特別支援教育研究会
- ・ 宮崎県特別支援学校教育研究会

IX 宮崎県特別支援教育研究連合 規約・細則

X 宮崎県特別支援教育研究連合加盟校一覧

おわりに

# 宮崎県特別支援教育研究連合のあゆみ

## 「宮崎県特殊教育研究連盟設立趣意書」

※注) 「宮崎県特殊教育研究連盟」は本連合：  
宮崎県特別支援教育研究連合の旧名称

盲教育に端を発した本県の特殊教育は、国における制度的な整備とともに、施設、設備の面においても、また教育内容・方法等においても年々充実が見られ、障がいのある児童生徒の可能な限りの社会参加を目指した教育が推進されているところであります。この間の関係者の献身的な取り組みに対し心から感謝申し上げます。

しかしながら、近年、児童生徒の障がいの重度重複化・多様化傾向や障がいを取り巻く環境の変化に伴う保護者の意識の高まり等が見られ、これまで以上に多くの課題が見られるようになっております。中でも、個に応じた教育課程の編成・実施、後期中等教育の充実、適正就学、進路指導の充実等に係わる課題は喫緊の課題としてその具体的な対応を迫られているところであります。

このような状況の中、小・中学校において特殊教育に携わっている教師や盲・聾・養護学校の教師の間から、一堂に会して課題解決を図ることが効果的であり、そのために共通の場を設置することが必要であるとの声が聞かれるようになってまいりました。しかし、こうした思いは度々話題となりながらも、その実現は機が熟するところまでにはいならず今日まで持ち越されてきたところであります。

幸い、平成7年1月「盲・聾・養護学校教育研究会」が設立されたのを機に、連盟発足の機運が高まり、ここに「宮崎県特殊教育研究連盟」が発足する運びとなった次第であります。38年という輝かしい歴史をもつ「宮崎県特殊教育研究会」と専門的な機関の持つ機能が相互にその特性を生かしていくことにより、これまで以上に多様かつ深い課題解決が推進され特殊教育の振興・発展が期待できるものと確信いたします。

本連盟は、こうした経緯の中、多くの関係者の願いをもとに設立されたものであり、その具体的な目的、活動等は規約に示すとおりであります。特に次のようなねらいをもって組織されたものであります。

一、研究活動を通して重度重複化・多様化した児童生徒の指導のあり方を探るとともに個々の教師の資質向上を図る。

一、それぞれの立場から現状認識をもとに将来をも含めた特殊教育の課題とその解決策を探り、特殊教育のより一層の充実を図る。

一、地域における教育活動を推進し特殊教育の更なる活性化を図る。

全国的にあまり例を見ない試みであるだけに、この組織を生かし育てていくには多くの困難も予想されます。会員一同、本会発展のために努力していく所存ではありますが、教育委員会をはじめ各関係機関には本連盟の趣旨をご理解いただき、本会が意義のある組織として発展しますよう各段のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

(平成7年2月：設立総会にて)

設立時の主旨は、今も変わることなく我々の進むべき道を照らしてくれています。そして特殊教育から特別支援教育への移行に対応した組織とするために数カ年の検討期間を経て、平成16年度に組織改編、平成17年度に名称変更、平成18年度に研究大会をブロック部会によるローテーション開催で行うこと(平成20年度より開始)について取り決め、先輩方が築かれた財産を伝承していきながら、新しい時代に対応した組織となるよう本連合は進んでいきます。

(平成18年度 加筆)

表：宮崎県特別支援教育研究連合（宮崎県特殊教育研究連盟）のこれまで

期 日	場 所	会 議 名	内 容
6年 6月27日	宮崎県庁	宮崎県公立小・中特殊教育設置校長、並びに 県立盲・ろう・養護学校長代表者会	役員選出
6年 8月12日	宮崎県庁	第1回宮崎県特殊教育研究連盟発足準備委員 会	基本方針
6年 9月22日	宮崎県庁	第2回宮崎県特殊教育研究連盟発足準備委員 会	組 織
6年10月29日	清武養護学校	第3回宮崎県特殊教育研究連盟発足準備委員 会	規 約

6年11月19日	清武養護学校	第4回宮崎県特殊教育研究連盟発足準備委員会	規約
6年12月12日	附属小学校	第5回宮崎県特殊教育研究連盟発足準備委員会	総会運営
7年1月28日	附属小学校	第6回宮崎県特殊教育研究連盟発足準備委員会	総会運営
7年2月18日	清武養護学校	宮崎県特殊教育研究連盟設立総会準備会	役員等
7年2月28日	宮崎市中央公民館	宮崎県特殊教育研究連盟設立総会	発足承認
16年7月27日	宮崎市総合福祉保健センター	平成16年度宮崎県特殊教育研究連盟代議員会(総会)	組織改編承認
17年7月27日	宮崎市総合福祉保健センター	平成17年度宮崎県特殊教育研究連盟代議員会(総会)	名称変更承認
20年8月7日	宮崎市佐土原総合文化センター	第12回宮崎県特別支援教育研究連合研究大会 宮崎ブロック部会大会	研究大会のブロック部会によるローテーション開催開始